

## 資金分配団体 審査会議 議事概要

### コロナ対応支援助成〈随時募集〉第5次

1. **日時**：2021年12月1日（水） 開会 15：30－閉会 17：30
2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル 314  
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom
3. **審査委員（敬称略）**
  - ・ 深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）[委員長・議長]
  - ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）
  - ・ 菅野拓（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）
  - ・ 高原康次（グロービス大学院 講師）
  - ・ 永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）
  - ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
  - ・ 山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）
  - ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）
  - ・ 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
  - ・ 審査事務局：JANPIA

〈手元審査を実施した委員（審査会議は欠席）〉

- ・ 治部れんげ（ジャーナリスト）

#### 4. 議題

2021年度コロナ対応支援助成〈随時募集〉第5次の審査

#### 5. 申請の状況

3事業

#### 6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理

し、審査会議に臨んだ。

## 7. 議事要旨

審査委員 9 名の出席（当日欠席の委員も、手元審査の結果コメントを提出）により、審査委員長が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告による確認を行い、利益相反関係がないことを確認した。

### 〈利益相反自己申告の状況〉

・特になし

## 審査

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 1 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 公益社団法人ユニバーサル志縁センター

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 2 事業

申請のあった事業について、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 一般社団法人全国食支援活動協力会
- 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

※審査過程において、食支援事業分野における現状や課題をラウンドテーブル型で議論し、その分野における休眠預金活用について整理する必要性があるとの提案があった。

(3) 第 4 次で保留とした団体事業について

第 4 次の審査会議において推薦を保留とした事業について、JANPIA にて実施したヒアリングの結果を審査委員に報告した。そのうえで議論を行い、理事会へ推薦することとした。

- 公益財団法人佐賀未来創造基金

以上